

埼玉県議会議員

あらい一徳



安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

県政ニュース

あらい一徳県政ニュース7月号では、6月下旬から7月上旬まで開かれていた**埼玉県議会平成30年6月定例会**での、**私の活動**などを中心に、ご報告させていただきます。

県5か年計画の進捗状況を確認

6月定例会において、私が所属する総務県民生活委員会では、平成29年度を初年度とする、県の最上位計画である、県5か年計画に関する質疑を行いました。この中で、計画の進捗状況を確認するとともに、今後の計画の着実な実行を促しました。委員会における執行部とのやり取りは次の通りです。

ラグビーW杯と東京オリ・パラの積極的なPRを

質問 5か年計画の重点推進課題に、ラグビーワールドカップ(W杯)2019と東京2020オリンピック・パラリンピック(オリ・パラ)の開催がある。両イベントとも、本県が開催会場の一つとなることが決まっており、県内で開催されることを認知している県民の割合を、開催年に100%にすることが目標となっている。しかし、平成29年度の認知度は前者が36.2%、後者が56.9%だ。目標達成に向けて積極的なPR活動などが欠かせないが、県として、どのように取り組むのか？

答弁(ラグビーW杯2019大会課長) 認知度100%は非常に高い目標だが、認知度向上に努めていく。本県では、集客イベントへの出展やSNSによる情報発信、デジタルサイネージによるPRも実施している。組織委員会の予算が厳しいため、今のところテレビCMはないが、こうしたCM活用も組織委員会に働きかけていきたい。

(オリ・パラ課長) 昨年度の目標値は50%だったので、目標は上回った。県政世論調査では、県東部地域の認知度が低いことが判明しているので、7月の2年前イベントは、県東部地域にある越谷レイクタウンで実施し、若者や家族連れに積極的にPRしたい。また、集中的な広報にも取り組む。ラジオのFM放送局や県内映画館でのCM放映を行うなどして、認知度向上を図りたい。

審議会委員に、女性の積極的な登用を

質問 5か年計画では、女性の活躍推進も大きなテーマの一つで、その指標として、審議会などの委員に占める女性の割合を最終年度に40%を目標としている。ただ、自分も審議会委員を務めて感じたことだが、充て職や指定された職で委員が決まるケースが多く、このことは女性登用の大きな壁であると感じる。審議会の規定などを見直すべきと考えるが、いかがか？

答弁(男女共同参画課長) 法令等による職指定や団体からの推薦による委員については、対象となる女性がない場合がある。当課では、目標未達成の審議会を所管する課と協議を行っており、その中で、充て職の見直しや団体への働きかけを進めていきたいと考えている。併せて、女性の育成も重要であるから、推薦団体における女性育成についても働きかけを行っていききたい。(裏面に続く)

後継者不足に悩む文化団体への積極的な支援を



■ **質問** 文化芸術の振興では、文化芸術活動を行っている県民の割合を最終年度に35%にするという目標を掲げている。この分野では、我々議会サイドからの修正で、主な取り組みに「文化団体等への支援」を盛り込んだ。文化団体は後継者不足が深刻で、積極的な支援が必要だ。

■ **答弁（文化振興課長）** 文化芸術の振興のため、県民の寄付等で作られた埼玉県文化振興基金で、助成を行っている。新井委員ご指摘の通り、後継者不足の問題があるため、**平成29年度から伝統芸能団体や子どもを対象とした助成について、1団体あたりの助成可能回数を2回から5回に増やした。**また、本年度からオリ・パラの文化プログラムの認証を受け、オリ・パラやラグビーW杯を文化で盛り上げる事業を行う文化団体などに対する助成も始めた。こうした取り組みを通じて、文化団体の活動を支援していく。

本年度も、国道17号の路面補修を継続

国道17号は建設から50年以上が経過し、ひび割れが目立つようになっています。管理者である国土交通省に昨年度より、損傷状況が激しく緊急性の高いところから順次、路面補修に着手していただいておりますが、本年度も、継続して補修事業を実施していただくことになり、このほど、補修箇所が決まりました。

北本市内ではすでに、深井地区や北本・宮内地区で先行して補修が行われましたが、**本年度は、宮内地区と深井地区の計5か所で順次、工事が行われます。**国道17号の他地域の沿道でも、交通振動に悩まされている住民がまだいらっしゃると思います。残る地区についても、速やかに補修工事が実施されるよう、国土交通省に積極的に働きかけていきます。



皆さまとより良い故郷づくりを

本県は今後、急速な高齢化が進む一方、生産年齢人口は減少に向かうなど、大きな転換点を迎えようとしています。そうした中であって、これからのまちづくりはどうあるべきなのか？を真剣に考えるべき時期に来ていると痛感しています。市民の皆さんお一人お一人のお力を借りながら、これからのまちづくり、埼玉づくりを進めていきたいと考えています。

私あらい一徳は、それぞれの地域で、さまざまな課題について市民の皆さんと話し合う懇談会を開催したいと考えています。団体、サークルなどのグループ、個人でも結構です。懇談会をご希望の皆さん、あらい一徳県政調査事務所までぜひ、ご連絡をください。



新井一徳プロフィール

○昭和48年1月19日、北本市生まれ。
○北本市立石戸小学校、西中学校、埼玉県立熊谷高等学校を経て、慶應義塾大学卒。
○社会人時代はテレビ埼玉、北海道新聞でジャーナリストを務める。
○平成23年春の埼玉県議会議員選挙で初当選し、現在は2期目。産業労働企業委員長、人材育成・文化・スポーツ振興特別副委員長、警察危機管理防災委員長などを歴任。

あらい一徳県政調査事務所

☎ 364-0031 北本市中央1-81
Tel 048-594-1600 Fax 048-594-1602
月～金のAM9:30～PM5:30に開設中。
ご意見ご要望をお寄せください。